

令和4年度 認定こども園仁賀保評価委員会 会議録

1, 日時 令和5年2月22日(水) 10:00~11:00

2, 会場 当園ひまわり組保育室

3, 会次第

- (1) 挨拶、園内一巡、自己紹介
- (2) 令和4年度保護者アンケート、職員自己評価の結果について
- (3) その他
- (4) 質疑応答、指導助言

4, 出席者(副園長欠席)

| | |
|-----------------|-----------------|
| 佐渡谷 妙子(琴浦) | 茂野 正信(琴浦自治会副会長) |
| 須田 はと子(P T A会長) | 渡邊 麻美(P T A副会長) |
| 柴田 こずえ(園長) | |

5, 会議内容

園長より～資料に沿って保護者アンケート、職員自己評価の結果についての説明

○保護者からはおおむね良い評価をいただいたが、中にはマイナスな評価もあったので、今後の課題にしていく。

○保護者の多様化を感じる。コロナウィルスによる学級閉鎖の実施では色々な意見があったが、今後の緩和に準じて柔軟に対応していく。

○あかるくなかよくがんばるこども…当園の目指す子ども像として位置付けている。

○人的環境…子どもの内面の理解を深められるよう研修を重ねてきた。

○地域の方々へ向けて「こどもえんだより」を発行している。

○今年度はできなかった墓地公園までの避難訓練を来年度は実施したい。

・質疑応答、指導助言

(佐渡谷)

・自宅は園のすぐそばだが、園内のにぎやかな声はほぼ聞こえない。朝早くから夜遅くまで園舎の電気がついているのが見える。先生方は本当にお疲れ様だと思う。今回初めて園内を見せていただき、先生方の様子を見せてもらったが、とても健全に運営されていると感じる。世間で言われているようなことは微塵も感じなかった。

・0歳児がR5年4月にはいないのだが、家でお母さんが見ているからだと思えるのはどうか。

(茂野)

- ・園の目の前に住んでいるが、昔に比べると静かだと感じる。かつてのにぎわいが欲しい。
- ・“認定こども園”だということが地域住民はどれだけ分かっているのか？0歳児から預かれるということも含め。園児数が来年度20人も減ることがショック。ぜひ自治会長にお願いして会報に載せてもらおう。自治会でも何か協力できることはないか。
- ・アプリのことや写真販売のことも伝えて載せてもらおう。

(須田)

- ・子ども達がみんな喜んで登園しているのも、先生達が子ども達のために一生懸命研修したり、声をかけたりして、考えてやってくださっているおかげだと思う。
- ・自分も卒園生なので園には愛着があるが、園児数20人減はショック。子どもの絶対数が減っているので仕方ないのだが、表にしてみると改めてわかる。
- ・キッズリーはありがたい。(隣の茂野さんに見せながら) 写真が届くと嬉しい。

(渡邊)

- ・19人の上の子の様子を見てきたので、20人も減ると園内が淋しくなると感じる。
- ・コロナ禍ではあったが、今年は昨年度と比べても運動会、こどもえんまつり、発表会等の行事で保護者を入れてやってくれたのでとてもありがたかった。子どもとも思い出を共有できる。
- ・キッズリーはとてもいい。連絡帳だけよりも分かりやすいし、父親も見て喜んでいる。(隣の佐渡谷さんに見せる)

(園長)

- ・情報の発信の仕方を考えていく。地域の方々、保護者や移住者向け等、スマートフォンで気軽に見られるようにしていきたい。
- ・園児数は減るが、マイナスだけではなく、少人数保育の良さを生かして手厚く保育を展開していきたい。